



秋田県立養護学校天王みどり学園 研究だより NO.1

平成27年9月25日 発行

# ippo(いっぽ)

研究だより『ippo』は、『①nteraction (相互作用)、②ur②ose (目的)、③bserve (観察)]の頭文字から命名しています。名前の通り、『目的を共有し、互いに観察し合い、高め合う』教職員、そして授業づくりを目指し、様々な情報を発信したいと考えています。

【平成27年度 研究主題】

キャリア教育の視点で小・中・高を貫く教育課程の編成

～児童生徒がやりがいと手応えを感じる授業づくりを通して～

(1年次/2か年)

研究主題である「キャリア教育の視点で小・中・高を貫く教育課程の編成」について検討する方法の一つが『ワーキンググループ』です。本号では、これから全職員が教育課程について有意義な協議ができるよう、この『ワーキンググループ』(以下WG)の取組について共有したいと思います。

グループ構成の意図は何？



小1・2・3と小4 | 小5・6と中1 | 中2・3と高1 | 高と外部評価 の4グループです。隣接する学部をまたぐ学年同士でグループを構成することで、児童生徒の1～2年過去・現在・将来を身近にイメージしながら協議を深めていくことをねらいとしています。

グループでどんなことを協議するの？

所属するWGの研究授業の参観にあたり、研究授業の事前・事後で協議を行います。授業改善はもちろんですが、本校のキャリア教育全体計画と関連付けながら、指導内容や育みたい力等の教育課程について十分に意見交換をしたいと思っています。



具体的な内容・方法です。



## ① 事前ミーティングに参加

### 【授業者】

- ・本学年（学習グループ）の目指す姿、指導計画、これまでの取組状況、キャリア教育全体計画との関連、本時の意図について伝える。

### 【参観者】

- ・研究授業の学年（学習グループ）のこれまでの取組、本時の意図を知り、参観の視点を明らかにする。

### 【授業者と参観者】

- ・「評価の観点」の確認と共通理解をする。

〇年生では、〇〇を生活単元学習の柱にして取り組んでいる。今後は〇〇を考えていて、本時では〇〇をねらった授業を展開する。キャリア教育全体計画の中の、〇〇を大事にしている。



なるほど・・・。  
本時では〇〇に注目して授業を参観しよう。

## ② 研究授業参観

## ③ 研究協議（全校授業研、学部授業研、グループ授業研に、WGメンバーも加わり協議する）

- ・本研究授業についての協議を行う。（授業改善）
- ・キャリア教育全体計画との関連、指導内容、育みたい力等、教育課程に関わる協議を行う。（教育課程の改善）

〇〇に向かって、やりがいをもって取り組んでいる姿が良かった。

〇学部への節目をつなぐためには、さらにどんなことが必要なのかな。



〇年生では目指す姿に向かってどういったことに取り組んでいるの？

〇〇についてもこの学部では大切にしたい要素ではないかと感じた。

隣接する学年同士だからこそ、身近に考えながら話し合うことができます！  
まずは、自分の担任する児童生徒の来年、再来年の姿を想定しながら、授業から感じたこと、日頃考えていること等をたくさん意見交換しましょう！  
それが、小・中・高・社会へとつながる教育課程の改善と考えています。

\*WGで協議された話題を今後、紹介します。